

# 土木学会論文集改革

土木学会論文集編集委員会 部門B編集調整幹事 大石

★★★★

★★★★

## 土木学会論文集の改革

英文化:海外に対する日本土木会の存在

再編:調査研究部会(水工学委員会)

電子化:赤字対策

# 土木学会論文集の改革

英語論文集: 出版編集委員会が出版権

2012年1月発行

日本語論文集: 各調査研究委委員会が出版権

2011年1月開始 2013年1月全論文集完了

## 日本語論文集(水工学委員会)

年間4回の雑誌を発行

通常号: 土木学会論文集B1(水工学) Vol.B1-67, No.2

2月, 5月, 11月

特集号: 土木学会論文集B1(水工学) Vol.B1-67, No.3 水工学論文集第54巻

8月(CD-ROMは講演会にあわせて販売)

# 英語論文集

JHHE→新英文論文集の体制

インパクトファクターか、「英語情報の公開」か

# 英語情報の公開

水工学論文集などからselectされた論文を中心

オリジナルな論文が日本語にある場合IFが付かない

トムソン・ロイター型は難

論文毎の被引用回数(Google Scholar型)を目指す？